

保育士等の人材確保に関する届出登録者現況調査結果

令和7年3月
社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
福井県福祉人材センター

調査概要

1 目的

少子高齢化の進展や核家族世帯の増加、生活スタイルの多様化にともない、保育サービスの利用者ニーズが増加しているなか、保育所等における保育人材の確保や職員の定着率を高めていくことが課題となっている。

このような状況をふまえ、福井県福祉人材センター（以下、センター）に登録している保育士（資格取得見込者含む）届出登録者の状況を把握し、今後の人材確保に関する有効な対策を検討する資料として活用することを目的に実施する。

2 実施主体 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会（福井県委託事業）

3 調査対象 センターに登録している保育士（資格取得見込者含む）届出登録者

4 調査期間 令和6年10月1日（火）～10月末日（木）

5 調査基準日 令和6年9月1日時点

6 調査方法

センターが調査票を届出登録者に郵送し、インターネット（Google フォーム）上で回答する調査方法。

7 調査内容 別紙「調査票」のとおり。

8 回収結果

届出登録者数（発送数）	556 人
回答者数	84 人
回答率	15.1%

9 調査結果の概要

センターでは、福祉職場への就職希望者の相談や職業紹介、就職フェアの実施など、福祉人材の確保を目的とした各種事業を展開している。

この調査はセンターに登録している保育士（資格取得見込者含む）届出登録者（556 人）を対象にインターネット（Google フォーム）を利用してアンケート調査を実施した。

【回答者】

保育士（資格取得見込者含む）の届出登録者は全て女性であり、年代別に見ると「20代」が43人（51.2%）と最も多く、次いで「40代」15人（17.9%）、「50代」の登録者が13人（15.5%）という結果となった。

【保育士資格を取得した方法】

保育士資格を取得（取得見込）の方法では、「短期大学（取得予定）」での取得（取得予定）が56人（66.7%）と最も多く、次いで「大学（取得予定）」が11人（13.1%）、「専門学校（取得予定）」が7人（8.3%）であった。「資格試験合格者」は10人（11.9%）で40代・50代は各4人、30代・60代は各1人であった。

【現在の就業状況】

現在の就業状況（パート含む）では「現在保育士として働いている」が57人（67.9%）、「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」が15人（17.9%）、「保育士として働いたことが無い」10人（11.9%）であった。

【働く中で特に負担に感じていること】

「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した者が保育士として働くなかで特に負担に感じることは「各種計画書の作成」が35人（19.1%）と最も多く、次いで「行事（準備含む）」32人（17.5%）、「気がかりな子への対応」25人（13.7%）となった。

また、特に改善してほしい事柄は「給与、賞与等の改善」が44人（22.0%）と最も多く、次いで「職員数の増員」36人（18.0%）、「事務、雑務の軽減」26人（13.0%）となった。

【今後、働くうえで重視すること】

「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」と回答した者が今後、保育士として働くうえで重視することについては、「職場の雰囲気、人間関係」が10人（17.5%）と最も多く、次いで、「処遇（給与・休暇・手当等）」が9人（15.8%）、「勤務日数、時間の条件」「雇用形態（パート、非常勤職員として採用）」が各7人（12.3%）であった。

※回答者数（84 人）および年代別内訳は下表のとおり。

【回答者数】

男	女	その他	回答しない	無回答	合計
0	84	0	0	0	84
0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【年齢別回答者数】

年齢	男	女	その他	無回答	合計	割合
20 代	0	43	0	0	43	51.2%
30 代	0	4	0	0	4	4.8%
40 代	0	15	0	0	15	17.9%
50 代	0	13	0	0	13	15.5%
60 代	0	8	0	0	8	9.5%
70 代以上	0	1	0	0	1	1.2%
合計	0	84	0	0	84	100.0%

目次および調査項目

設問No.	設問内容	頁
問1	性別	1
問2	年齢	
問3	あなたの現在の住所は？	
問4	あなたは「UJターン」者ですか？	2
問4-2	問4で「Jターン 者」を選択した方はどちらの県からですか？県名を入力してください。	
問4-3	問4で「Iターン者」を選択した方はその理由をお答えください。 ※該当するものすべてにチェック	
問5	あなたが取得（取得予定）した資格は何ですか？ ※該当するものすべてにチェック	3
問6	あなたが保育士資格を取得（取得予定）した方法は？	4
問7	あなたの現在の就業状況（パート含む）について	5
問8	問7でA「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した方のみお答えください。現在の雇用形態をお答えください。	6
問9	問7で A「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した方のみお答えください。あなたは保育士として働くなかで特に負担に感じることはありますか？ ※該当するもの上位5つにチェック	7
問10	問7でA「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した方のみお答えください。あなたが保育士として働くなかで、特に改善してほしいと思っている事柄はありますか？ ※該当するもの上位5つにチェック	9
問11	問7でB「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」と回答した方のみお答えください。あなたが保育士として就業されていた保育所等を退職した理由をお答えください。 ※該当するものすべてにチェック	12
問12	問7で B「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」と回答した方のみお答えください。あなたが今後、保育士として働くうえで重視することをお答えください。※該当するものすべてにチェック	13
問13	問7で B「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」、C「保育士として働いたことがない」を選択した方はお答えください。今後、保育士として働く希望はありますか？	14
問14	問13で「働く希望はない」を選択した方はお答えください。保育士の仕事に復職または復帰する予定がない理由は何ですか？ ※該当するものすべてにチェック	16
問15	問7で C「保育士として働いたことがない」と回答した方のみお答えください。あなたが保育士として働かなかった（働かない）理由はなんですか？ ※該当するものすべてにチェック	18
問16	問7で C「保育士として働いたことがない」、D「学生」と回答した方のみお答えください。あなたが今後、保育士として働く場合に重視することは何ですか？ ※該当するものすべてにチェック	19
問17	すべての方がお答えください。福井県保育人材センター（福祉人材無料職業紹介所）にご登録いただいた方には、毎月有効求人一覧や『ふくい福祉・保育就職フェア』のご案内等就職支援を行っています。 ※求職登録等の希望の有無をチェック	20

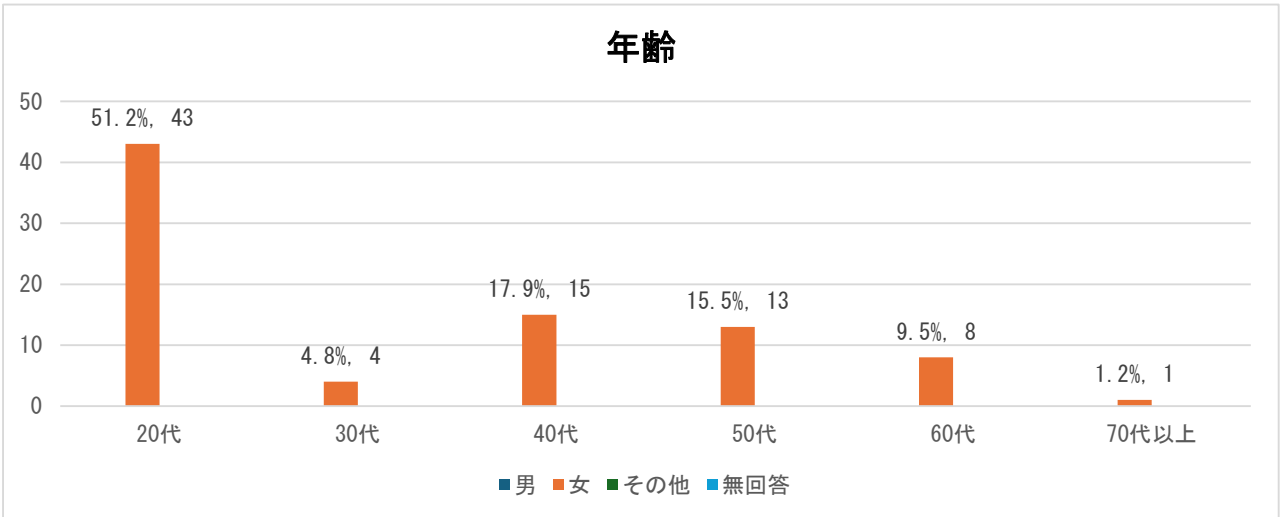
問1 性別

回答者は全て女性であった。

男	女	その他	回答しない	無回答	合計
0	84	0	0	0	84
0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

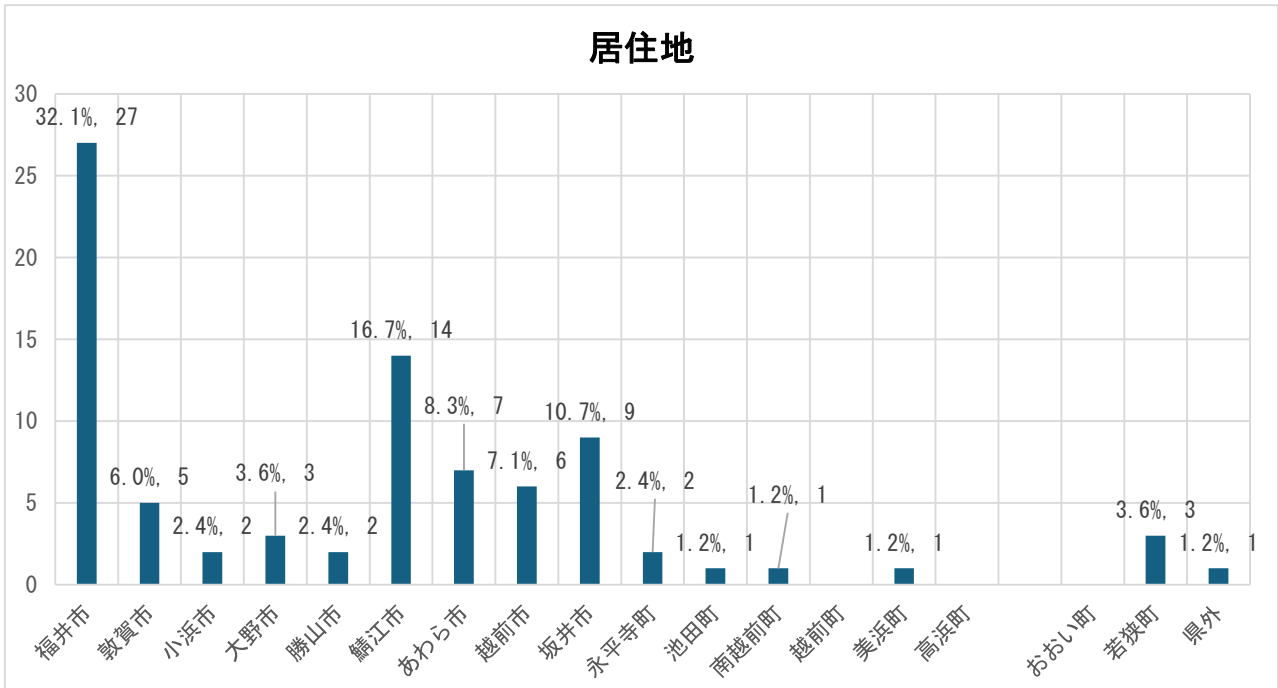
問2 年齢

年齢別にみると「20代」が43人（51.2%）と最も多く、次いで「40代」の15人（17.9%）、「50代」の13人（15.5%）の順となった。



問3 あなたの現在の住所は？

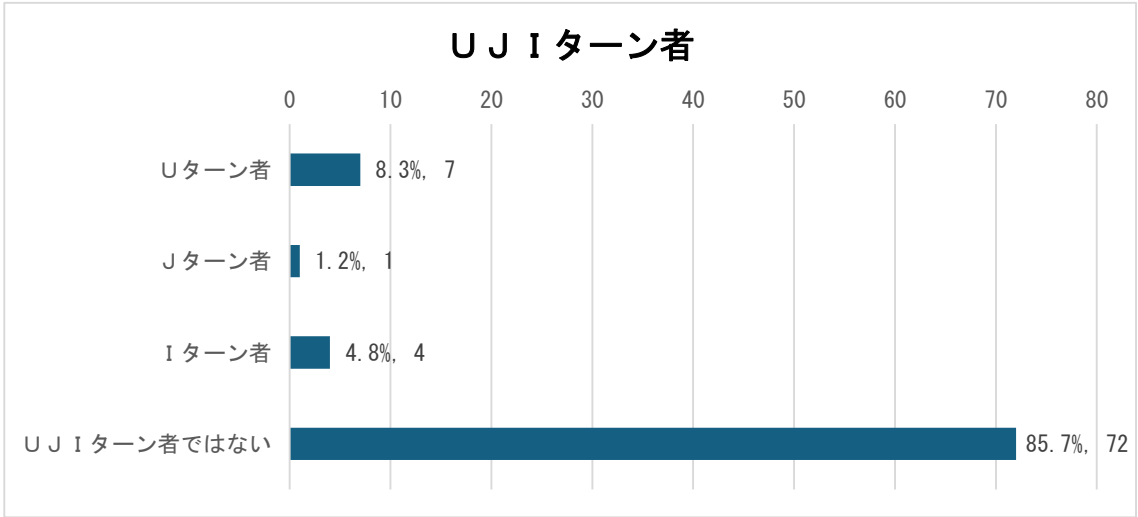
居住地の最も多いのは「福井市」27人（32.1%）で、次いで「鯖江市」14人（16.7%）、「坂井市」9人（10.7%）の順となっている。



問4 あなたは「UJI」者ターンですか？

「UJIターン者」は全体の12人（14.3%）。「Uターン者」は7人（8.3%）、「Jターン者」1人（1.2%）、「Iターン者」4人（4.8%）となっている。

「Uターン者」の7人の内訳は20代敦賀市在住（1人）・永平寺町在住（1人）、30代大野市在住（1人）、50代鯖江市在住（1人）・越前市在住（1人）、40代坂井市在住（1人）、60代若狭町在住（1人）となっている。また、「Jターン者」の1人は40代福井市在住で、「Iターン者」4人の内訳は70代以上福井市在住（1人）、30代勝山市在住（1人）、40代鯖江市在住（1人）、50代南越前町在住（1人）となっている。



問4-2 問4で「Jターン者」を選択した方はどちらの県からですか？県名を入力してください。

問4-3 問4で「Iターン者」を選択した方はその理由をお答えください。

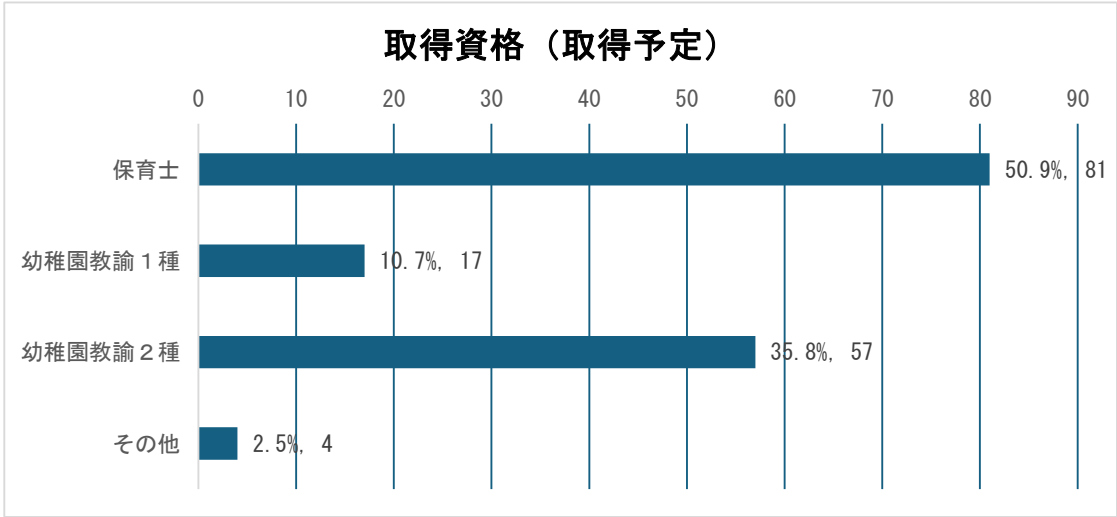
※該当するものすべてにチェック

「J I ターン者」は5人。「Jターン者」1人は福井市在住40代石川県から移住。「Iターン者」4人は勝山市在住30代で「子育てに適した環境」理由で愛知県から移住、鯖江市在住40代で結婚理由で岐阜県から移住、南越前町在住50代で結婚理由で愛知県から移住、福井市在住70代以上で就職理由で移住となった。

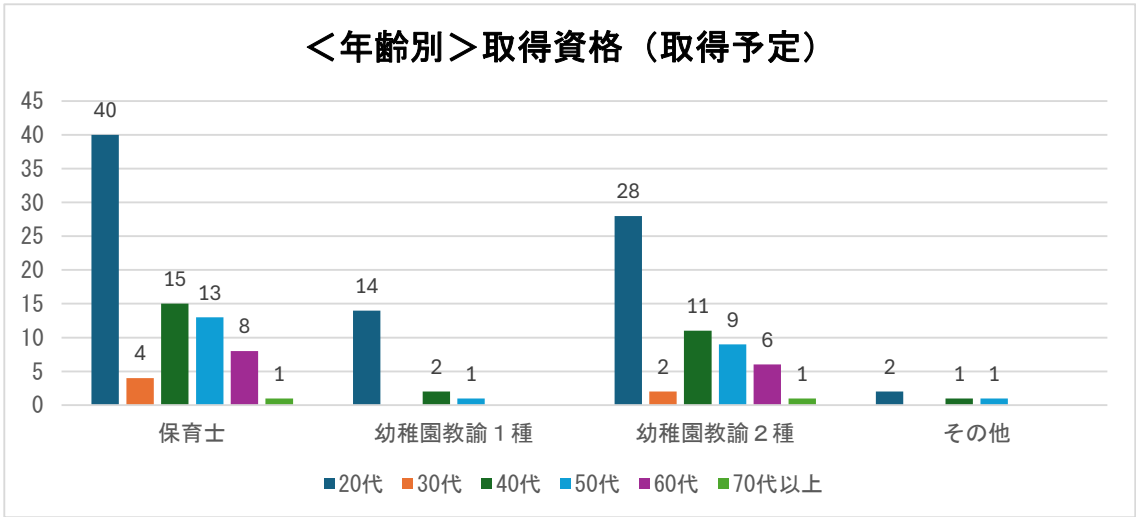
区分	人数	県名	理由	年齢	地域
Jターン者	1人	石川県		40代	福井市
Iターン者	4人	愛知県	子育てに適した環境	30代	勝山市
		岐阜県	結婚	40代	鯖江市
		愛知県	結婚	50代	南越前町
			就職	70代以上	福井市

問5 あなたが取得（取得予定）した資格は何ですか？ ※該当するものすべてにチェック

「保育士（取得予定）」が81人（50.9%）で最も多く、年齢別では20代が40人、次いで40代が15人、50代が13人の順であった。次いで「幼稚園教諭2種（取得予定）」57人（35.8%）で年齢別には20代が28人、次いで40代が11人、50代が9人であった。また、「幼稚園教諭1種（取得予定）」は17人（10.7%）で20代が14人、40代が2人、50代が1人であった。

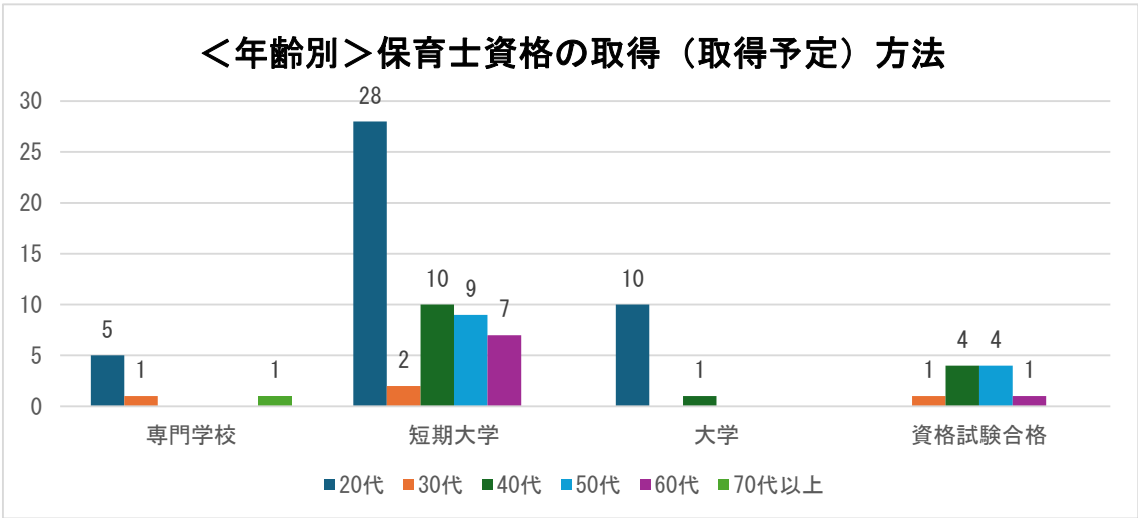
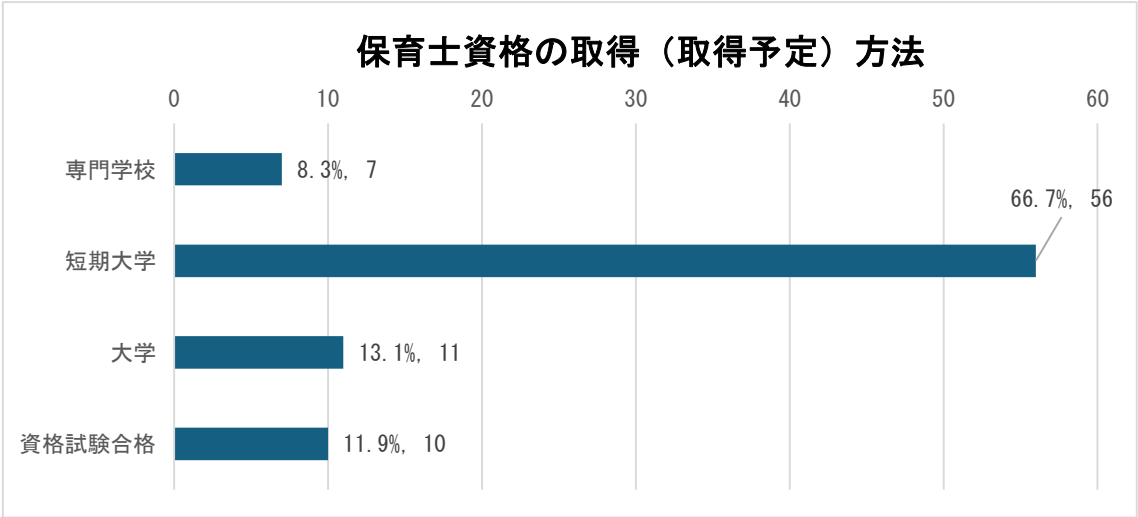


【その他】
20代：保育心理士 1 社会福祉士受験資格 1
40代：介護福祉士 1
50代：介護福祉士 1



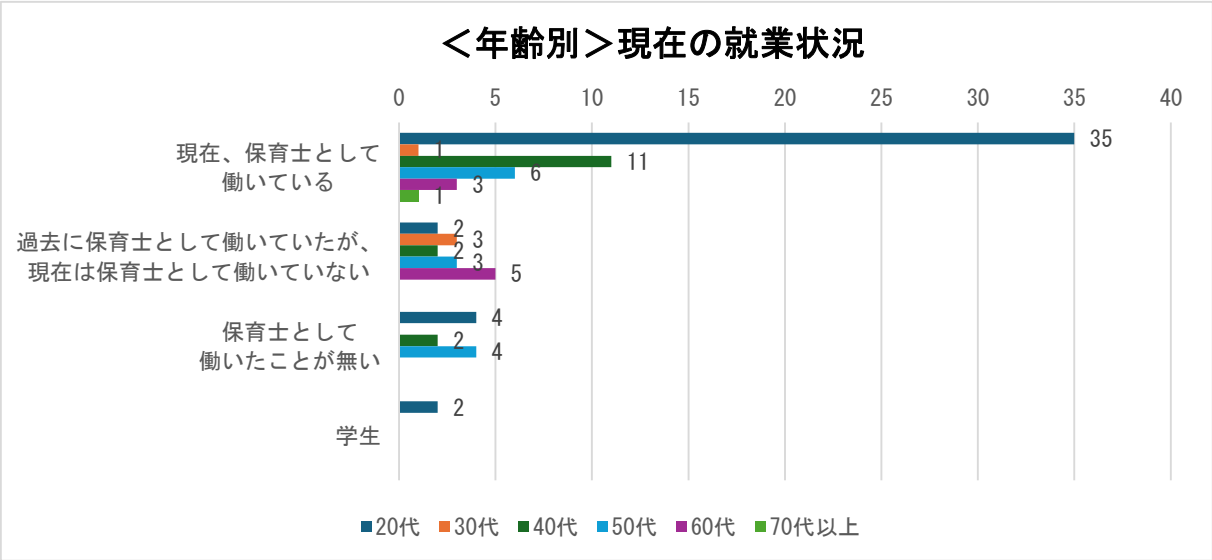
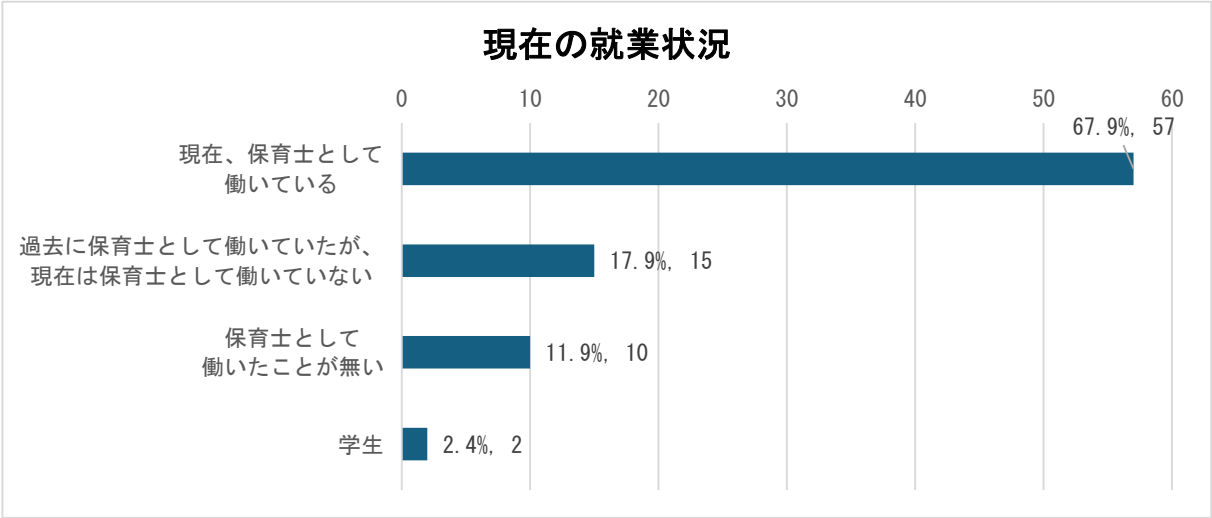
問6 あなたが保育士資格を取得（取得予定）した方法は？

「短期大学（取得予定）」での取得（取得予定）が56人（66.7%）と最も多く、年齢別では20代が28人、40代が10人、50代が9人の順であった。次いで「大学（取得予定）」が11人（13.1%）で年齢別では20代が10人、40代が1人であった。また、「専門学校（取得予定）」が7人（8.3%）で年齢別では20代が5人、30代・70代以上が各1人であった。「資格試験合格者」が10人（11.9%）で40代・50代は各4人、30代・60代は各1人であった。



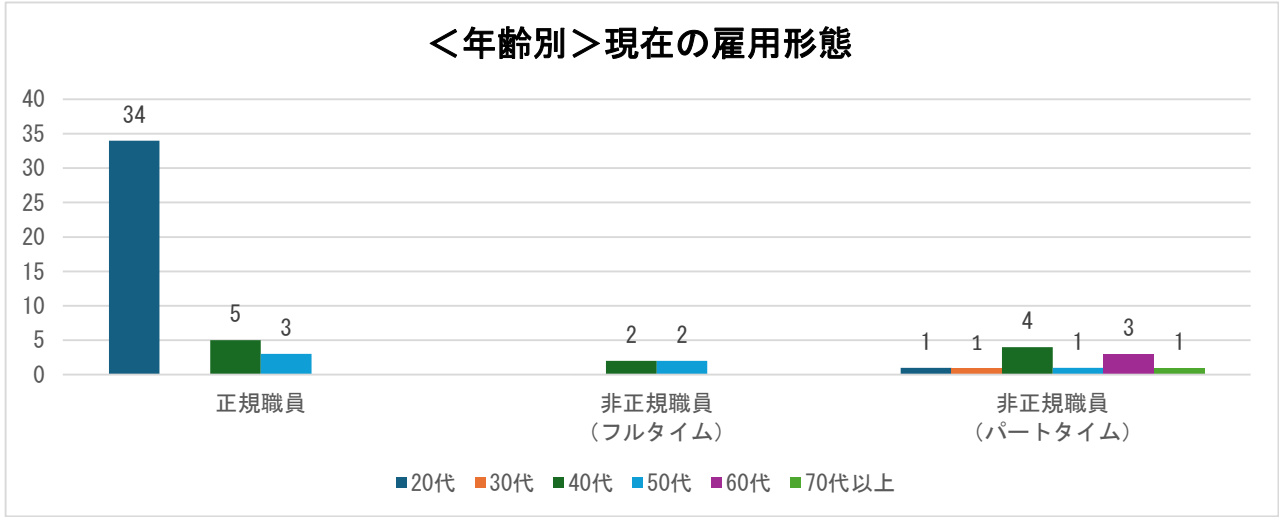
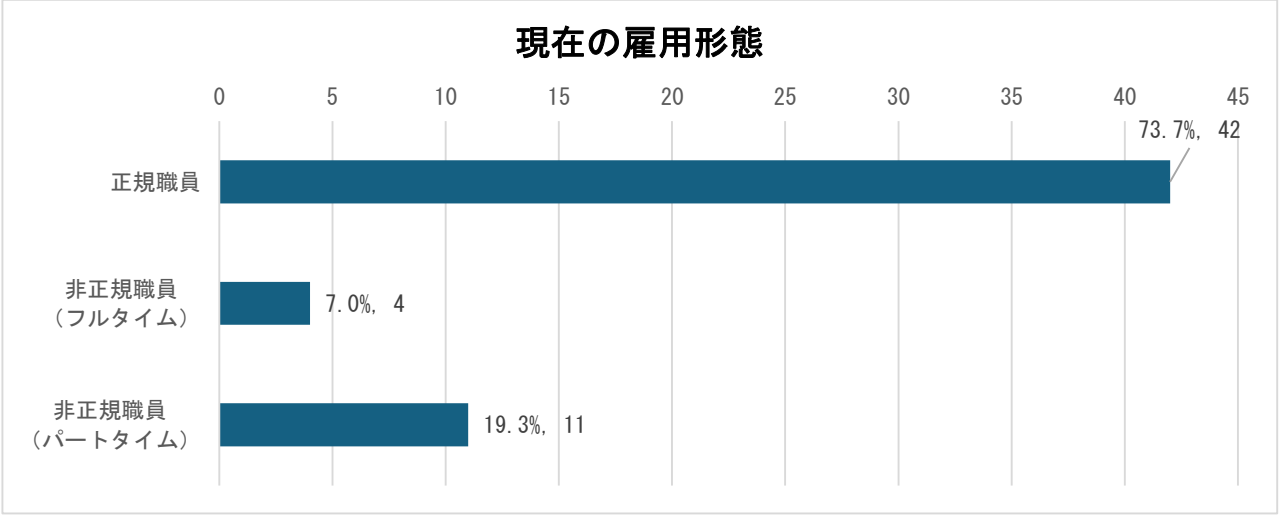
問7 現在の就業状況（パート含む）について ※保育士（保育教諭含む）

「現在保育士として働いている」が57人（67.9%）、年齢別では20代35人、40代11人、50代6人で「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」が15人（17.9%）、年齢別では60代5人、30代・50代各3人、20代・40代が各2人であった。「保育士として働いたことが無い」10人（11.9%）で20代・50代が各4人、40代が2人であった。また、学生が2人（2.4%）であった。



問8 問7でA「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した方のみお答えください。
現在の雇用形態をお答えください。

現在の雇用形態は「正規職員」が42人（73.7%）で年齢別では20代が34人、40代が5人、50代が3人であった。「非正規職員（パートタイム）」が11人（19.3%）で40代が4人、60代が3人、20代・30代・50代・70代以上が各1人であった。「非正規職員（フルタイム）」は4人（7.0%）で40代・50代が各2人であった。

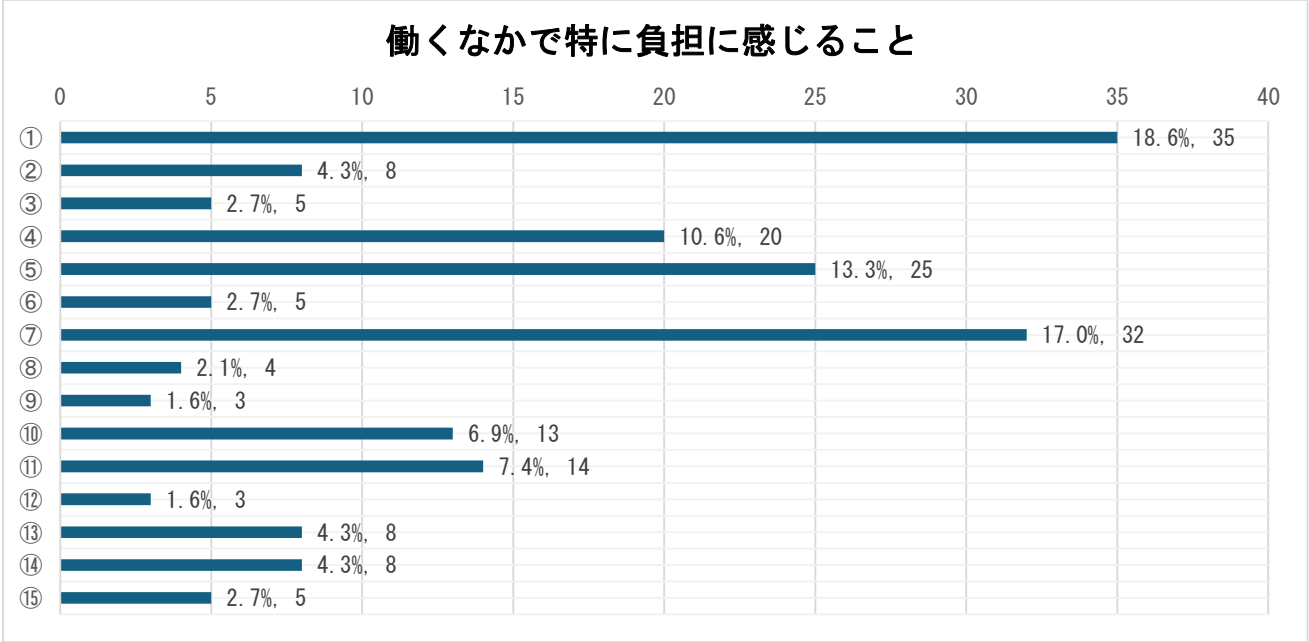


問9 問7でA「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した方のみお答えください。あなたは保育士として働くなかで特に負担に感じることはありますか。

※該当するもの上位5つにチェック

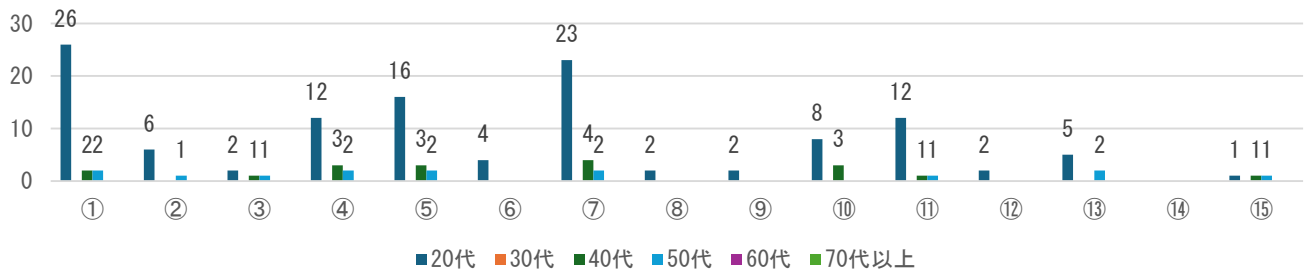
全体でみると保育士として働くなかで特に負担に感じることは「各種計画書の作成」が35人（18.6%）と最も多く、次いで「行事（準備含む）」32人（17.0%）、「気がかりな子への対応」25人（13.3%）となった。

雇用形態別にみると正規職員・非正規職員（フルタイム）は全体と同様の結果となったが、非正規職員（パートタイム）は「各種計画書の作成」「行事（準備含む）」などを挙げている。その他として人間関係、責任の重さ、上司との関わり、職員間の連携、時差勤務など。



- 1 各種計画書の作成
- 2 掲示物の作成
- 3 職員の育成
- 4 保護者対応
- 5 気がかりな子への対応
- 6 監査等の対応
- 7 行事（準備含む）
- 8 連絡帳の記入
- 9 地域への対応
- 10 保育の記録の記入（ICTアプリの入力、操作を含む）
- 11 保育教育活動の準備
- 12 児童の安全衛生に関する対応
- 13 職員間の情報共有および打合せ
- 14 特になし
- 15 その他

＜年齢別雇用形態（正規職員）＞働くなかで特に負担に感じること



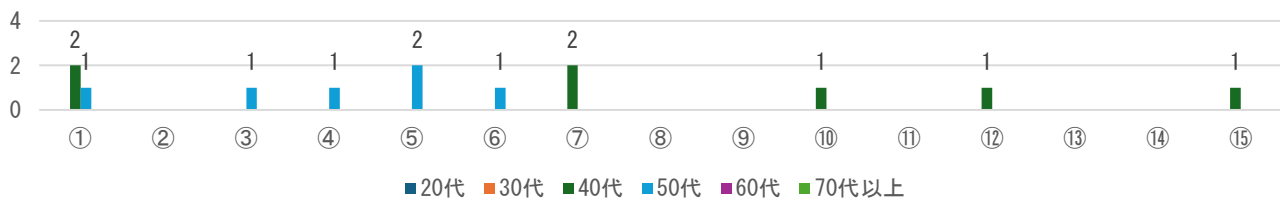
【その他】

20代：人間関係、責任の重さ、上司との関わり

40代：職員間の関係性、職員間の連携、サポート、時差勤務

50代：人間関係

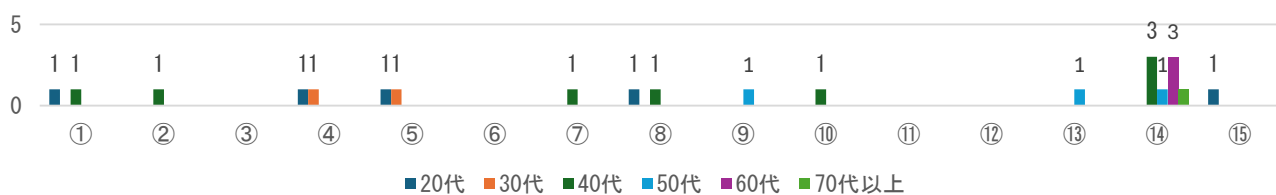
＜年齢別・雇用形態（非正規職員フルタイム）＞働くなかで特に負担に感じること



【その他】

40代：時差勤務の増加により勤務内に仕事が終わらない、休憩もないなど。

＜年齢別・雇用形態（非正規職員パートタイム）＞働くなかで特に負担に感じること



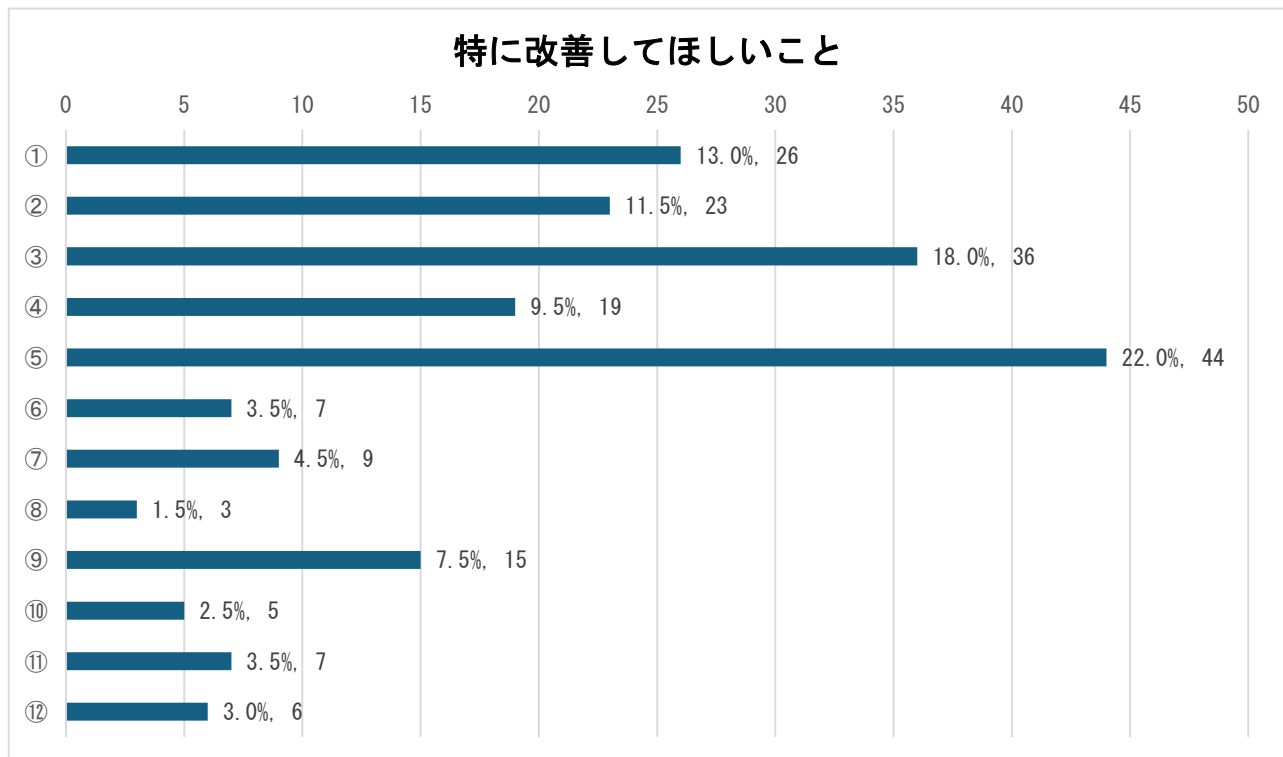
【その他】

20代：女性特有の人間関係

問10 問7でA「現在、保育士（保育教諭含む）として働いている」と回答した方のみお答えください。
 あなたが保育士として働くなかで、特に改善してほしいと思っている事柄はありますか？
 ※該当するもの上位5つにチェック

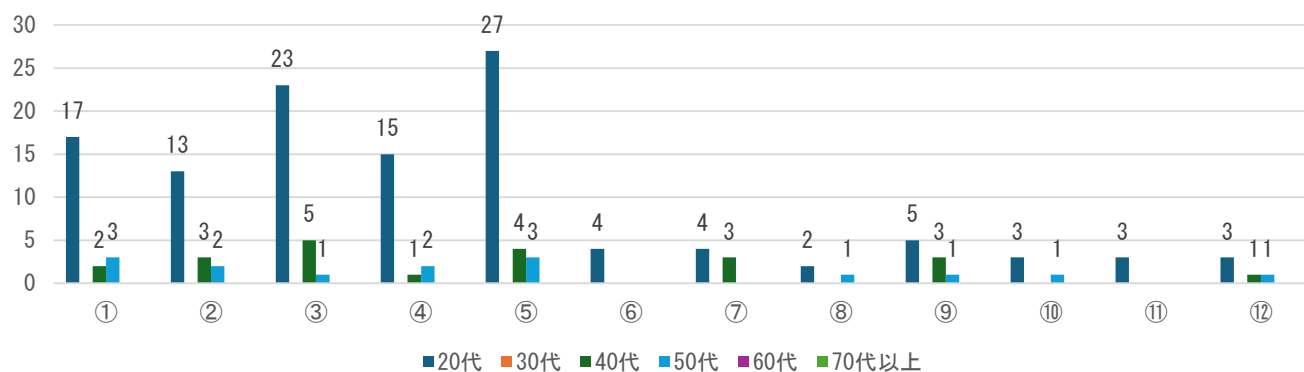
全体でみると現在、保育士（保育教諭含む）として働くなかで、特に改善してほしい事柄は「給与、賞与等の改善」が44人（22.0%）と最も多く、次いで「職員数の増員」36人（18.0%）、「事務、雑務の軽減」26人（13.0%）となった。

雇用形態別にみると正規職員・非正規職員（パートタイム）は全体と同様の結果となったが、非正規職員（フルタイム）は上位2位までは全体と同様の結果であったが、3位が「雇用の安定化（正規職員の登用）」「職員間のコミュニケーション」を挙げている。



- 1 事務、雑務の軽減
- 2 勤務シフトの改善
- 3 職員数の増員
- 4 未消化（有給等）休暇の改善
- 5 給与、賞与等の改善
- 6 雇用の安定化（正規職員登用）
- 7 相談体制の充実
- 8 研修機会の充実
- 9 職員間のコミュニケーション
- 10 施設の理念や運営方針
- 11 特になし
- 12 その他

＜年齢別・雇用形態（正規職員）＞特に改善してほしいこと



【その他】

20代：日々の超過勤務分しっかり残業代としてつけてほしい。

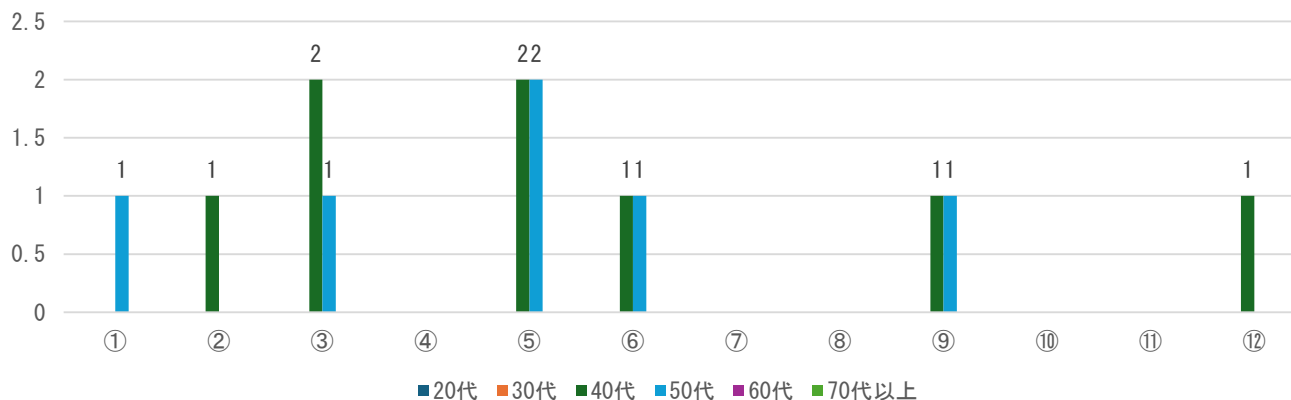
20代：気がかりな子の対応に対する補助金や賞与制度がほしい。

20代：タイムカード制にしてほしい。持ち帰りも含めて、残業しないと行事準備や普段の保育準備が終わらない。

40代：カスハラ保護者への対応、仕事時間以上に保育園に預ける親への対応

50代：休憩時間の確保

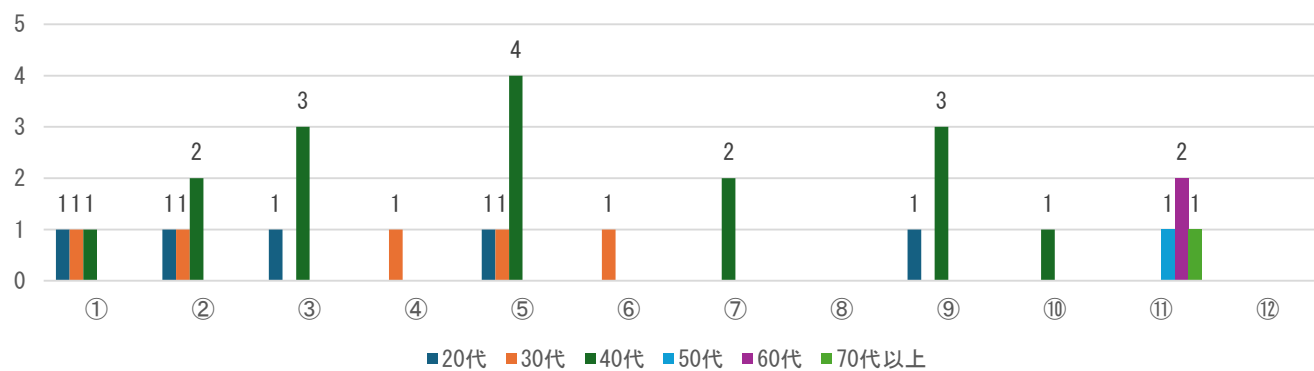
＜年齢別・雇用形態（非正規職員フルタイム）＞特に善してほしいこと



【その他】

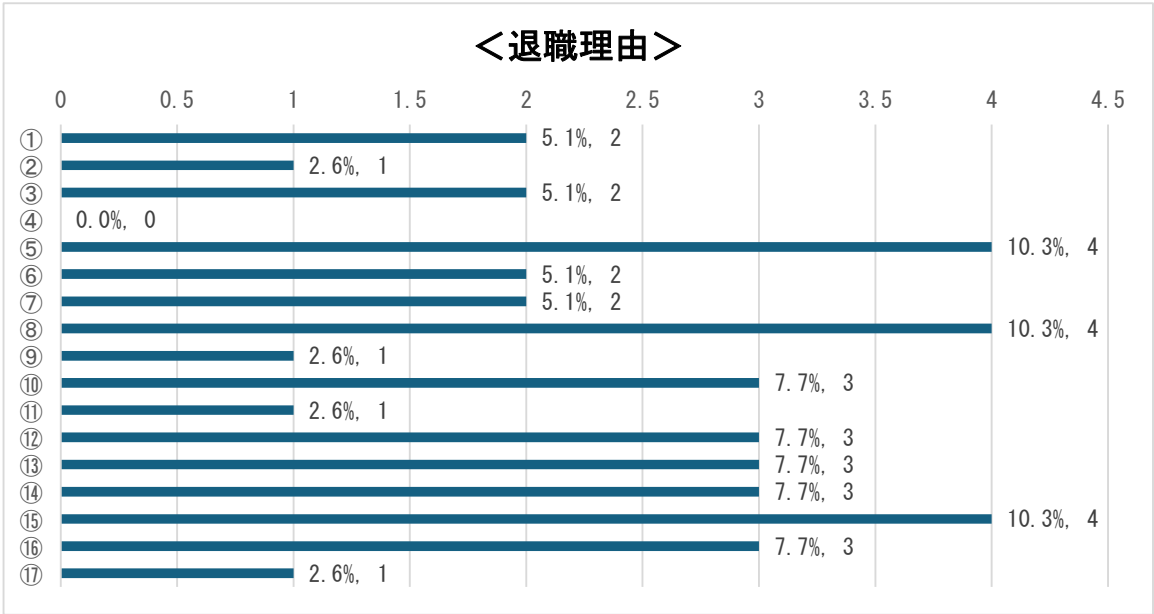
40代：正規職員と同じ時差勤務、行事の休日出勤などの仕事をしている。若い正規職員の指導、尻拭いなど非正規雇用の負担が多い。正規職員と同じかそれ以上の仕事量は不満である。フルタイム職員は給料もボーナスも正規職員と同じにするべき。

＜年齢別・雇用形態（非正規職員パートタイム）＞
特に改善してほしいこと

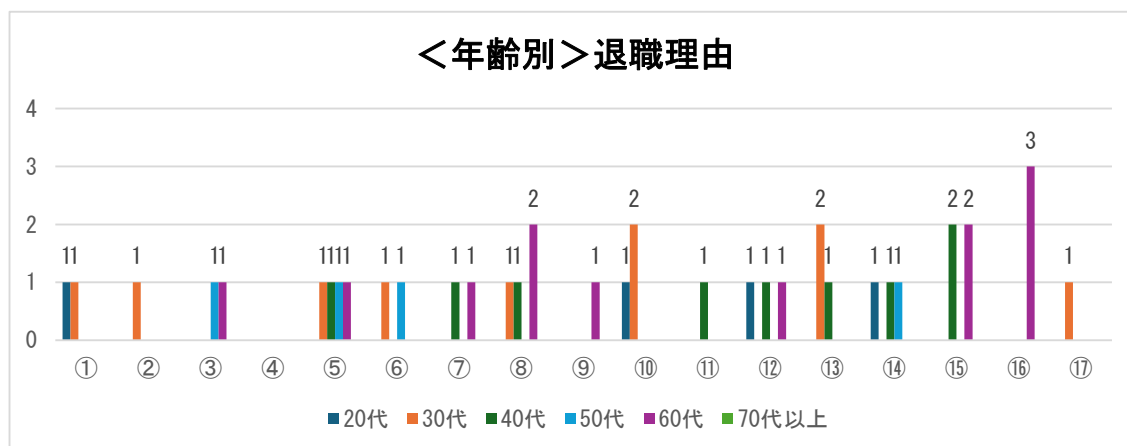


問11 問7でBを選択 B「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」と回答した方のみお答えください。あなたが保育士として就業された保育所等を退職した理由をお答えください。※該当するものすべてにチェック

「給料が安い」「責任の重さに不安がある」「他の職種に興味がある」が各4人（10.3%）と最も多く、次いで「仕事量が多い」「職場の人間関係」「健康上の理由（体力含む）」「職業適性に対する不安」「定年」が各3人（7.7%）であった。



- 1 結婚・妊娠・出産
- 2 子育て・家事
- 3 家族の事情（介護等）
- 4 家族の意向
- 5 給料が安い
- 6 就業時間が希望と合わない
- 7 休暇が少ない・休暇が取りにくい
- 8 責任の重さに不安がある
- 9 保育事故への不安
- 10 仕事量が多い
- 11 保護者対応等の心労
- 12 職場の人間関係
- 13 健康上の理由（体力含む）
- 14 職業適性に対する不安
- 15 他の職種に興味があるため
- 16 定年
- 17 その他

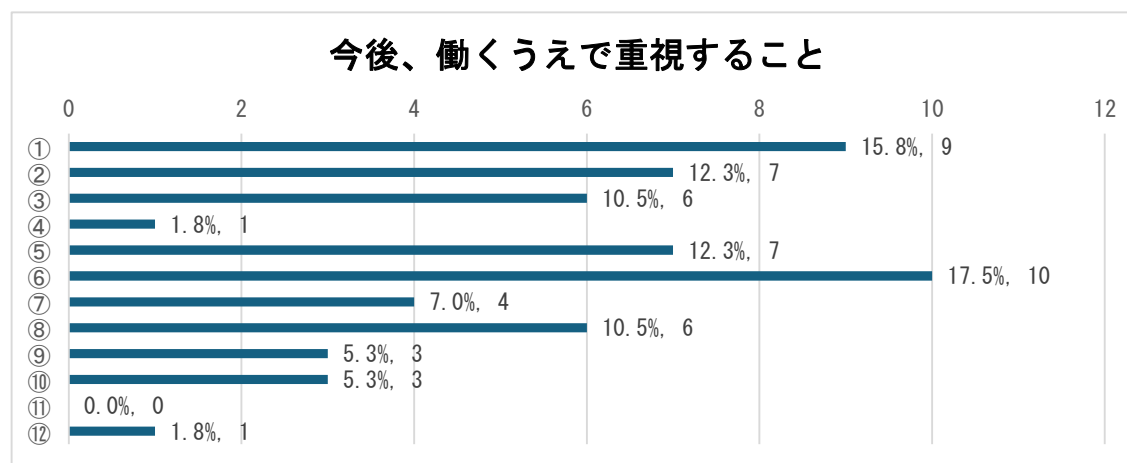


【その他】

30代：子どもの支援に携わるが保育士としての応募だったわけでないため。

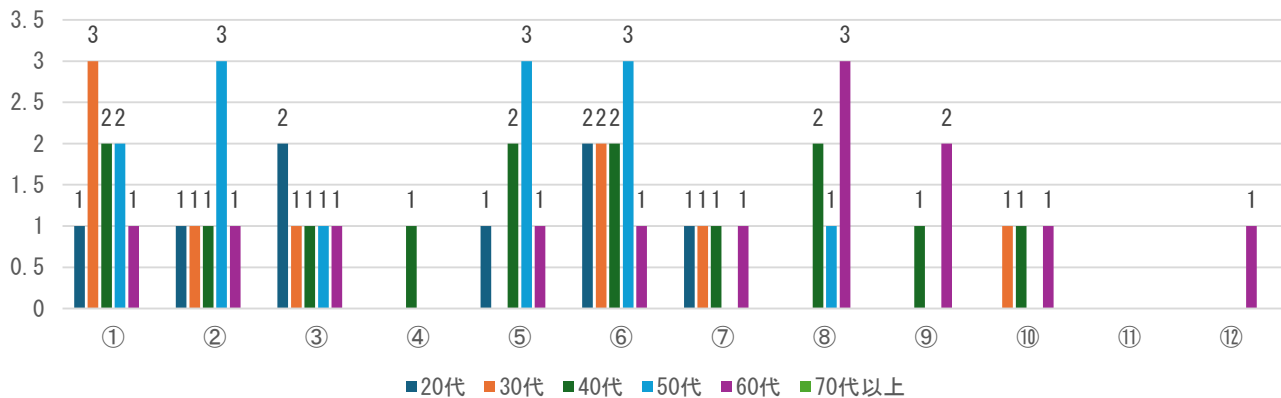
問12 問7でB「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」と回答した方のみお答えください。あなたが今後、保育士として働くうえで重視することをお答えください。
※該当するものすべてにチェック

「職場の雰囲気、人間関係」が10人（17.5%）と最も多く、次いで、「処遇（給与・休暇・手当等）」が9人（15.8%）、「勤務日数、時間の条件」「雇用形態（パート、非常勤職員として採用）」が各7人（12.3%）であった。年齢別にみると「職場の雰囲気、人間関係」「処遇（給与・休暇・手当等）」「勤務日数、時間の条件」は70歳以上以外の年代全てが選択している。また、「雇用形態（パート、非常勤職員として採用）」は30代と70代以上以外は選択している。



- 1 処遇（給与・休暇・手当等）
- 2 勤務日数、時間の条件
- 3 通勤時間
- 4 雇用形態（正規職員として採用）
- 5 雇用形態（パート、非常勤職員として採用）
- 6 職場の雰囲気、人間関係
- 7 施設の運営方針
- 8 働くことが可能な家庭の状況
- 9 自身の健康状態の改善
- 10 自身のキャリアアップ、やりがいを感じられること
- 11 研修等の再教育プログラムの参加
- 12 その他

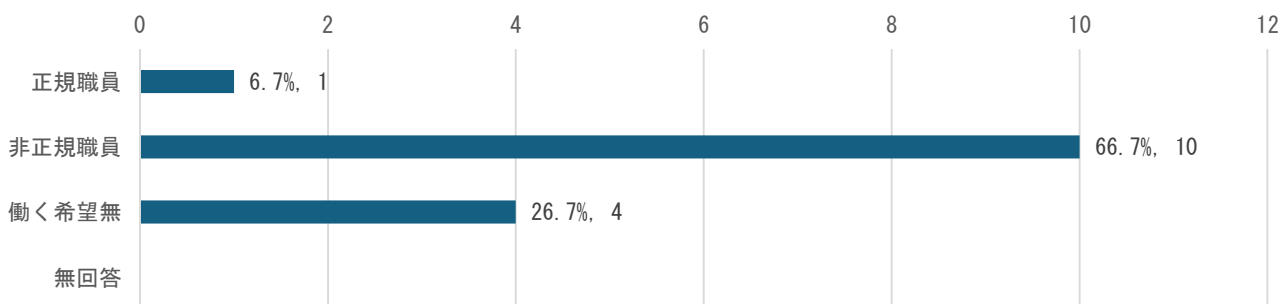
＜年齢別＞今後、働くうえで重視すること



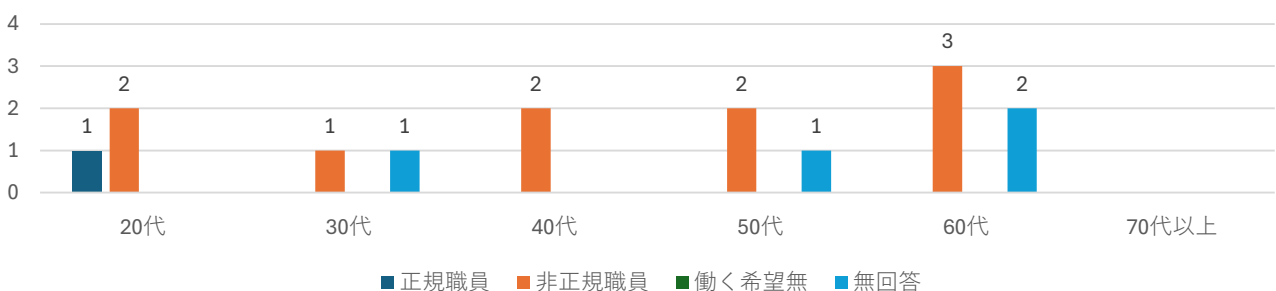
問13 問7でB「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」、C「保育士として働いたことがない」を選択した方はお答えください。今後、保育士として働く希望はありますか？

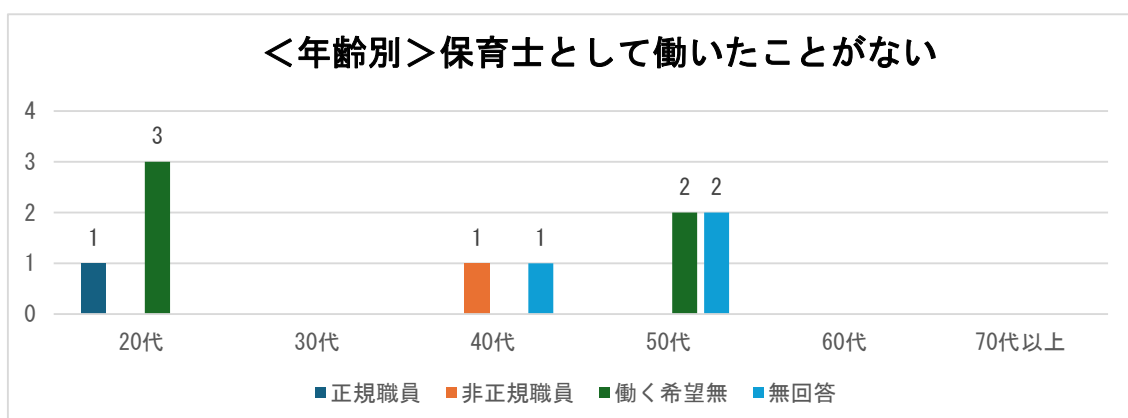
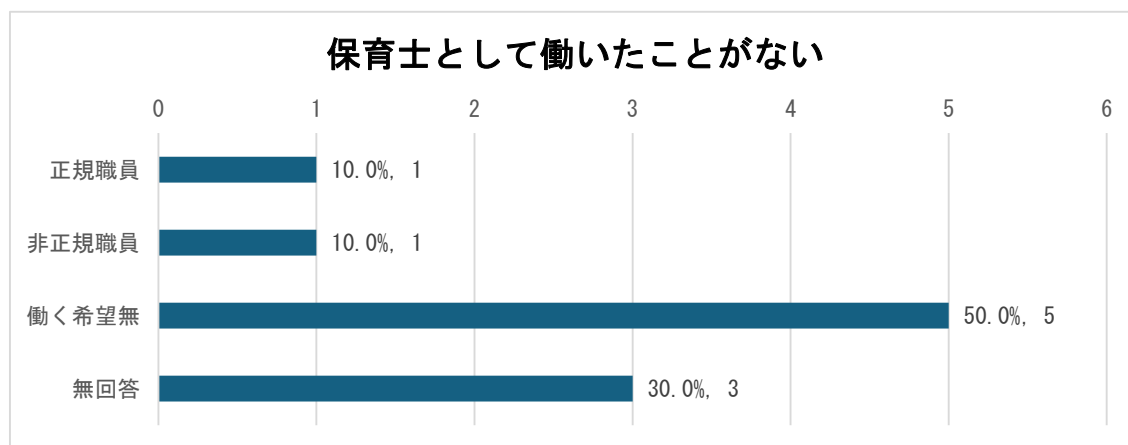
今後、保育士として働く希望については、「非正規職員として働く希望がある」が10人（66.7%）と最も多く、次いで「働く希望はない」が4人（26.7%）、「正規職員として働く希望がある」1人（6.7%）であった。年齢別にみると「非正規職員として働く希望がある」は70代以上以外は選択しており、「働く希望無」は30代・50代・60代が選択している。なお、「正規職員として働く希望がある」は20代であった。

過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない



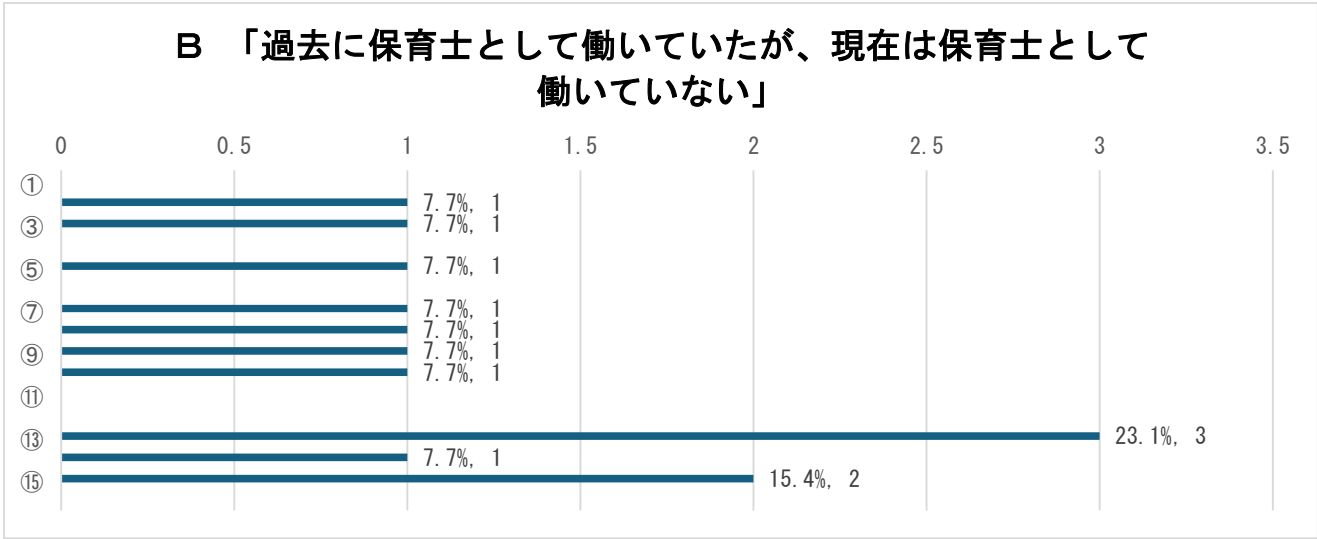
＜年齢別＞過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない



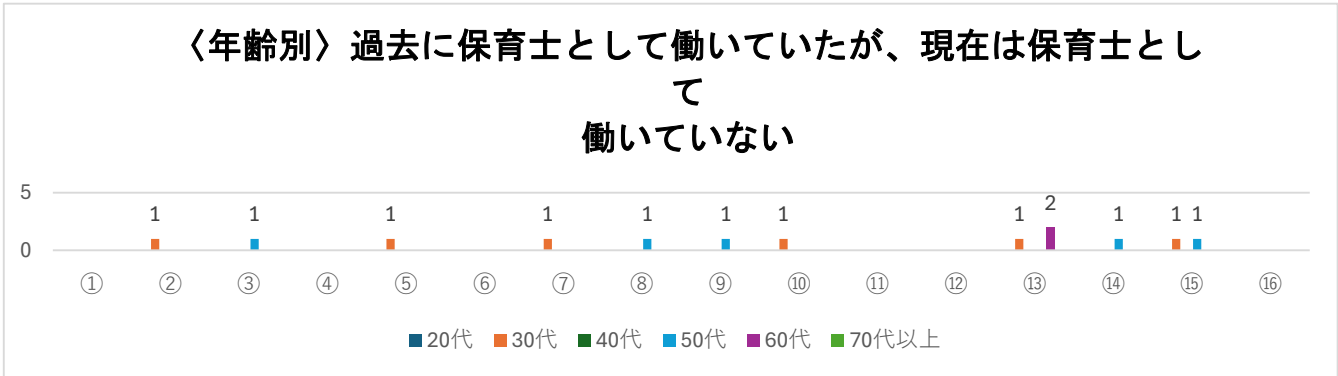


問14 問13で「働く希望はない」と回答した方はお答えください。保育士の仕事に復職または復帰する予定がない理由は何ですか。※該当するものすべてにチェック

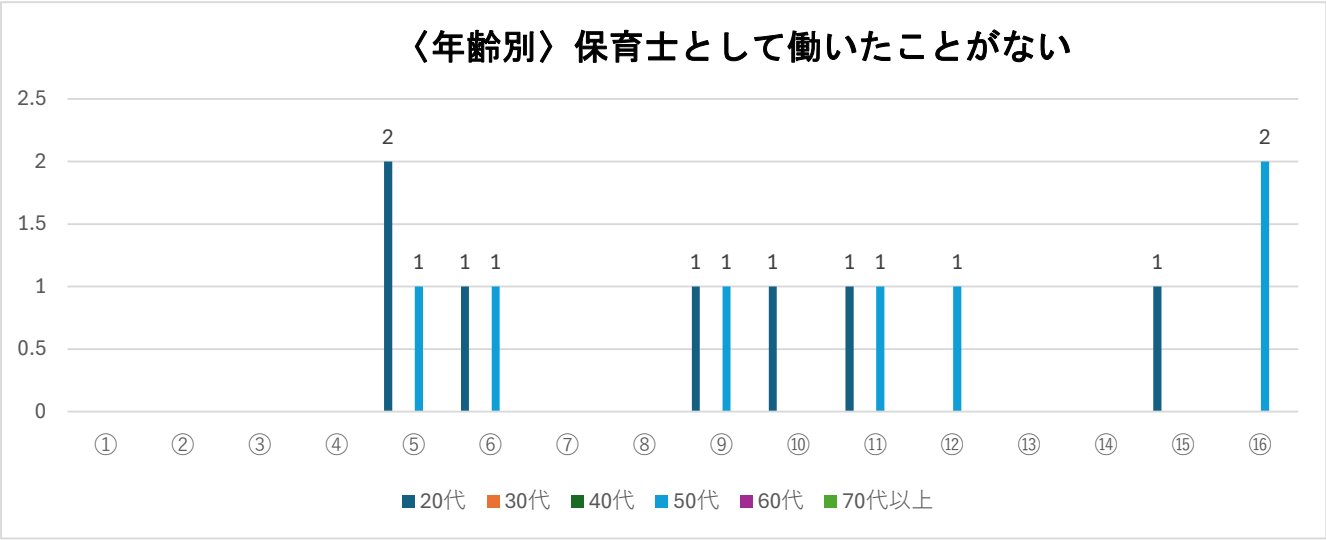
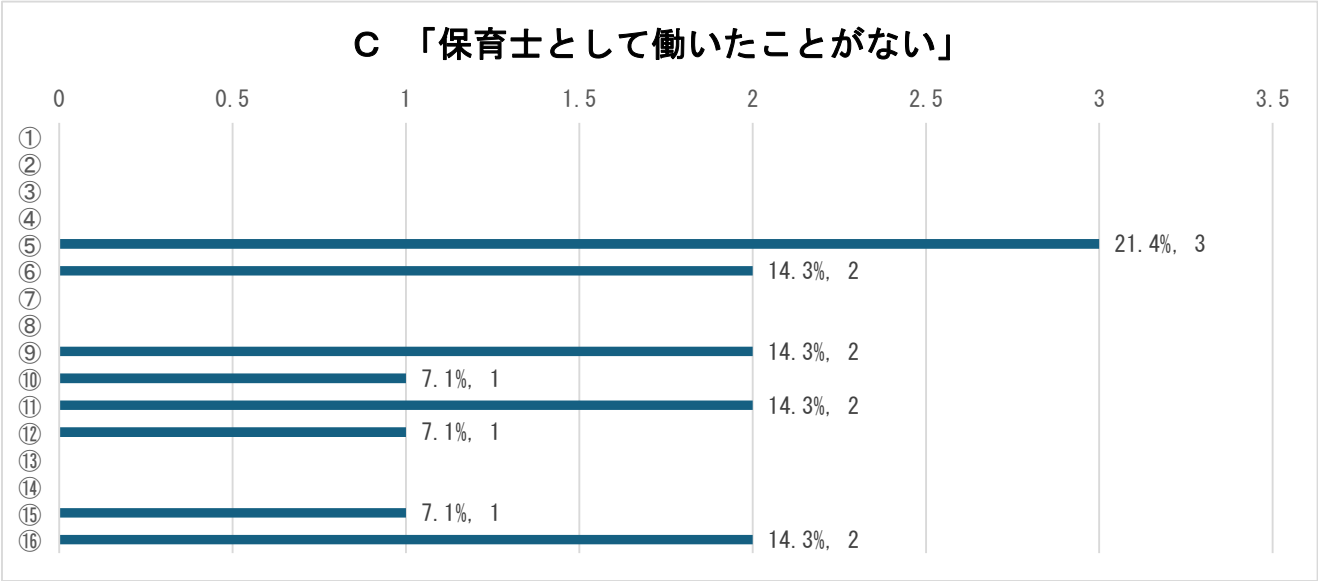
B「過去に保育士として働いていたが、現在は保育士として働いていない」者の回答では、「健康上の理由（体力含む）」が3人（23.1%）、次いで「他の職種に興味があるため」2人（15.4%）であった。また年齢別にみても同様の結果となった。



- 1 結婚・妊娠・出産
- 2 子育て・家事
- 3 家族の事情（介護等）
- 4 配偶者の意向
- 5 給料が安い
- 6 就業時間が希望と合わない
- 7 休暇が少ない・休暇が取りにくい
- 8 責任の重さに不安がある
- 9 保育事故への不安
- 10 仕事量が多い
- 11 保護者対応等の心労
- 12 職場の人間関係
- 13 健康上の理由（体力含む）
- 14 職業適性に対する不安
- 15 他の職種に興味があるため
- 16 その他

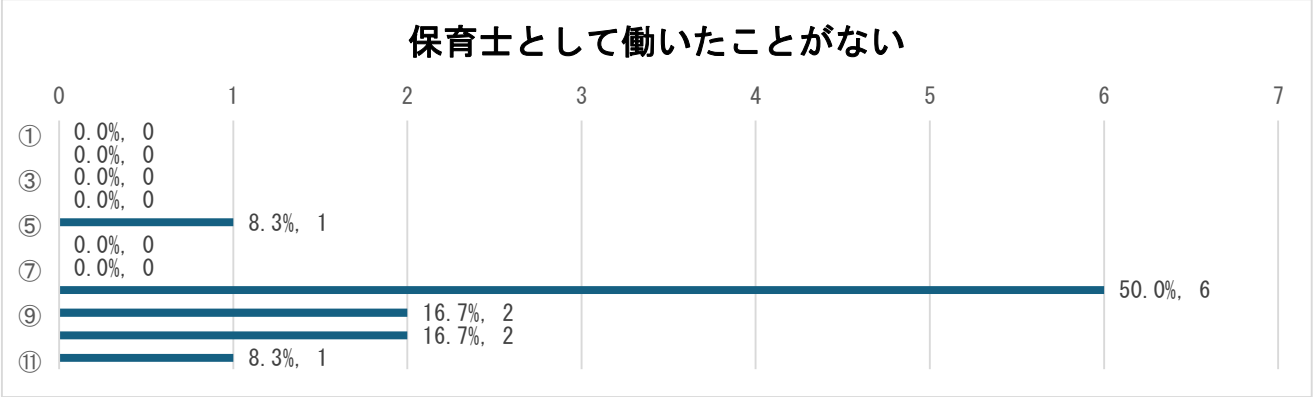


C「保育士として働いたことがない」者の回答では、「給料が安い」が3人（21.4%）、次いで「就業時間が希望と合わない」「保育事故への不安」「保護者対応等の心労」「その他」が各2人（14.3%）であった。また年齢別では「給料が安い」「就業時間が希望と合わない」は20代と50代が選択しており、「保護者対応等の心労」は50代が選択している。

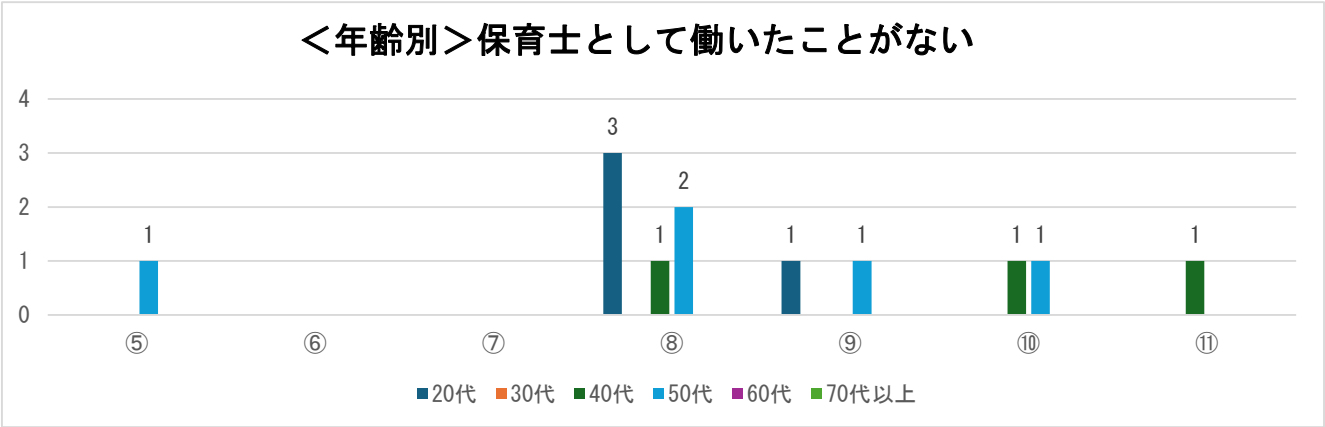


問15 問7で C「保育士として働いたことがない」と回答した方のみお答えください。あなたが保育士として働かなかった（働かない）理由は何ですか？ ※該当するものすべてにチェック

「他業種の職業を希望、就職した」が6人（50.0%）と最も多い。年齢別では20代3人、50代2人、40代1人の順であった。次いで「自分には適性がないと感じた」2人（16.7%）で年齢別では20代と50代がともに1人、「資格取得が目的で保育士として働く意思はなかった」2人（16.7%）で年齢別では40代と50代がともに1人であった。



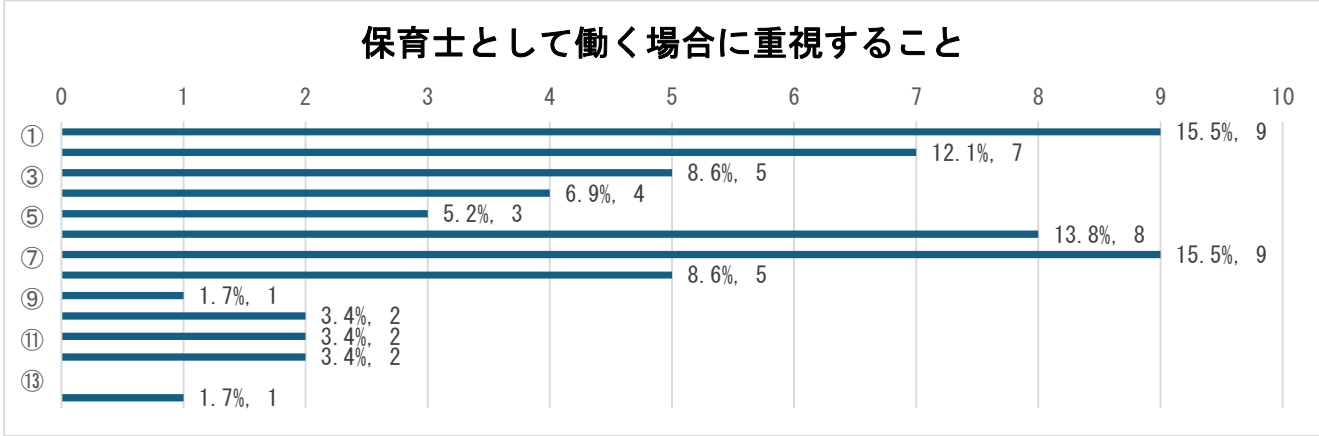
- 1 働く必要がなかった
- 2 家族等の意向、事情
- 3 家事、育児に専念したかった
- 4 勤務日数、時間が合致する求人がなかった
- 5 希望する給与等待遇の求人がなかった
- 6 保育士の求人の情報がなかった
- 7 就職活動をしたが、採用されなかった
- 8 他業種の職業を希望、就職した
- 9 自分には適正がないと感じた
- 10 資格取得が目的で保育士として働く意思はなかった
- 11 その他



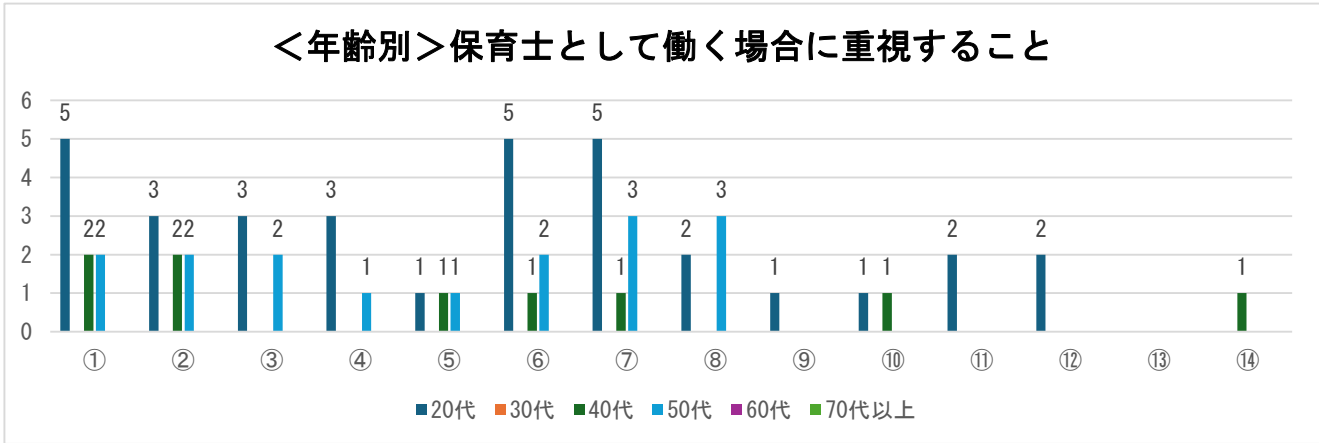
【その他】
40代：取得当時は資格取得が目的で試験を受け、現在も働いたことがないですが、ゆくゆくは非正規として働いてみたい。

問16 問7でC「保育士として働いたことがない」、D「学生」と回答した方のみお答えください。あなたが今後、保育士として働く場合に重視することは何ですか？ ※該当するものすべてにチェック

「給与、賞与」「職場の雰囲気、人間関係」がともに9人（15.5%）と最も多く、次いで「休暇が多い・取りやすい」8人（13.8%）、「勤務日数、時間の条件」7人（12.1%）となっている。年齢別では、「給与、賞与」は20代が5人、40代・50代がともに2人で、「職場の雰囲気、人間関係」20代5人、50代3人、40代1人であった。また、「休暇が多い・取りやすい」は20代5人、50代2人、40代1人で、「勤務日数、時間の条件」は20代3人、40代・50代がともに2人であった。



- 1 給与、賞与
- 2 勤務日数、時間の条件
- 3 通勤時間
- 4 雇用形態（正規職員として採用）
- 5 雇用形態（パート、非常勤職員として採用）
- 6 休暇が多い・取りやすい
- 7 職場の雰囲気、人間関係
- 8 施設の運営方針
- 9 働くことが可能な家庭の状況
- 10 自身の健康状態の改善
- 11 自身のキャリアアップ、やりがいを感じられること
- 12 研修等の再教育プログラムの参加
- 13 特になし
- 14 その他



【その他】
40代：経営者の働き方改革への理解 昔ながらの働き方が続いている。

問17 福井県保育人材センター（福祉人材無料職業紹介所）にご登録いただいた方には、毎月有効求人一覧や『ふくい福祉・保育就職フェア』のご案内等就職支援を行っています。

求職登録を「希望しない」が62人（73.8%）で最も多く、次いで「フェア等イベント情報の提供（LINE配信）のみを希望する」12人（14.3%）、「求職登録を希望する」10人（11.9%）であった。

